

ラーニングコモンズでお会いしましょう。

ラーニングコモンズアドバイザー 御厨かおり



ラーニング・コモンズ（以下 LC）とは、学ぶこと（ラーニング）のできる共有の場（コモンズ）を意味し、従来の図書館にある自習室のように一人で自分と向き合って勉強することもでき、また、友人同士でプレゼンテーションや議論、ワークショップなど、ワイワイ話し合いながらみんなで勉強をすることもできる自由な自習スペースです。LC では学生生活を豊かにするためのナビゲート講座や、久工大ならではのイベントの企画等の提案・サポートを行っています。LC は学生さんの未来をサポートする為の施設です。新設のキラキラした設備で一緒に学んでみませんか？

女子学生マナーアップ講座「KITTY♡倶楽部」

建築・設備工学科 3年 渋田瑠美（西南学院高等学校卒）



昨年からはじめた女子学生マナーアップ講座「KITTY♡倶楽部」、今年は更に女子力アップ！の内容で毎月開催されています。工学系は男性っぽいイメージなので、キャンパス内で女性としてのマナーも学べるなんて、特別感があって嬉しいです。

私の学科（建築・設備工学科）は女子がまだまだ少ないため、「KITTY♡倶楽部」の講座に参加して、他学科・違う学年の女子とのつながりができ、友達作りのきっかけになりました。

今年は今のところ友達と一緒に全講座参加。「クッキング教室」で教わった、簡単でヘルシーなポタージュスープのレシピや、「ヘアアレンジ教室」でプロに教わったワザは本当に使えて大助かり。7月の「浴衣の着付け教室」、8月の2つ星ホテルでの「テーブルマナー教室」も今から楽しみです。

後期も「礼法・作法講座」「メイクアップ教室」「クリスマスのお菓子作り教室」など盛りだくさん。新校舎100号館（テクノみらい館）で勉強はもちろん、充実したキャンパスライフを満喫しています。

子どもたちへ実験の面白さを伝えたい！

教育創造工学科 3年 上原武大（南風原高等学校卒）



子供たちに科学の芽を育てようと、佐賀市中央児童センターで「物理愛好会」のメンバーがアシスタントをつとめ、科学教室“低温のふしぎ：液体窒素による体験実験”（講師 本学 中村文彦教授）が開かれました。酸素が約-200℃で青色の液体になり磁石に付くことや、超伝導体が磁石のレール上を浮いたまま走行する実験を体験した子供たちから大きな歓声が上がり、私たちも元気をもらいました。はじめ実験に消極的だった児童が我々のアシスタントで積極的に実験しているのを見て、低学年には難しい実験でも実体験を通して学ぶことで理科が好きになる様子を見て感動しました。児童を楽しませつつ、危険な行動をとらないように指導していくことは難しいですが、今後、このような経験を通して理科実験に強い教員を目指していきたいと思えます。

キャンパス見学会のお知らせ

久留米工業大学では、「実際に大学を見てみたい」という高校生や保護者の皆さんのためにキャンパス見学会を実施します。施設見学・学科説明・入試概要・奨学金等、まるごと「久留米工業大学」をご覧ください、体験してください。

日程

- 第4回 平成27年9月27日(日) 10:30～13:00
- 第5回 平成27年10月18日(日) 10:30～13:00
- 第6回 平成27年11月8日(日) 10:30～13:00
- 第7回 平成27年12月13日(日) 10:30～13:00

申し込み方法

WebもしくはFAXで受け付けています。詳しくは以下のURLをご覧ください。

<http://www.kurume-it.ac.jp/jukensei/open/tour.html>



久工大ニュース

第17号

発行日 平成27年7月
久留米工業大学 広報課
久留米市上津町2228-66
TEL (0942)22-2345 (代表)
FAX (0942)21-8770
<http://www.kurume-it.ac.jp>



久工大は皆さんの夢実現に向けた舞台です

高校生の皆さん、皆さんは自分が思っている以上の能力を持っています。自分の能力に早く気づいたり、なかなか気づけなかったり、いろいろですが、大学は学生の能力に気づかせ、眠っている能力を開花させる学びやです。学生たちの夢実現に向けた舞台です。

久留米工業大学は5学科で1学年約300人の小規模校ですので、習熟度別クラス分けなど、学生と教員のお互いの顔が見える、きめ細かな教育を行なっています。学生は、数学や物理が苦手だなと思っていても、いつの間にか得意になり、立派に就職しています。今年の就職率はほぼ100%。開学以来進めてきた「ものづくり」実践教育も積極的に進めています。

皆さんと久工大でお会いするのを楽しみにしています。

学長 今泉 勝己



「インテリジェント・モビリティ研究所」設立



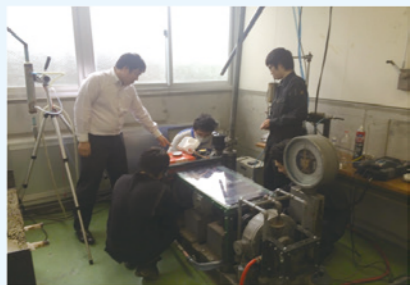
交通機械工学科と大学院自動車システム工学専攻が中心となり、未来を感じる魅力的なモビリティ（乗り物）社会を研究する「インテリジェント・モビリティ研究所」を開設します。

自動車や航空機などのノリモノの教育と研究を強みとしており、世界に通用する革新的な研究を発信していきます。具体的には、乗り物に知性（インテリジェント）を与え、単なる移動手段ではなくパートナーのような乗り物の開発や、農作業負担を低減する農業機械、体の不自由な方の室内移動をサポートする福祉機器、エネルギー効率の良い航空機のデザイン、次世代のクリーンエンジンの研究などを行います。

所長 交通機械工学科 教授 東大輔

燃焼排ガス中の汚染物質の除去技術の開発

機械システム工学科 准教授 高山敦好



本研究は、ディーゼルエンジンや小型燃焼炉を用い、吸入空気の改良や新燃料で燃焼の改善を行うと同時に、燃焼後の排ガス処理技術の開発を行っています。これらは、ナノテクノロジーを取り入れた最新技術の研究を行っています。また、企業との共同研究により、学生自らが研究開発に参加し、達成感を持ってもらえるよう取り組んでいます。これは、企業の方々との議論することで、学生の就業力育成につながることから、就職に直結した卒業研究を実施しています。

一級建築士を目指して先輩方と一緒に学んでいます

建築・設備工学科 2年 江藤卓臣（高鍋高等学校卒）



私は、大学卒業後、二級建築士、次に一級建築士の資格取得を目標としています。建築・設備工学科には建築士受験対策の講義「特別ゼミ」があります。これを受講したことで、1年生の後期から建築士の学科試験に合格するための準備方法が理解できました。そこで私は大学での研究開発に取り組み、建築分野の応用力を修得しています。研究室に通いながら、私は4年生の先輩と関わることができました。そこで先輩方の勉強方法等を知り、そこから自分に合った勉強方法を見つけ、部活やアルバイト等にもしっかりと取り組めるようになりました。

TIG 溶接ステンレス鋼溶接技能者「TN-P」に合格

機械システム工学科 2年 阿部奈月（筑紫台高等学校）



私は普通科出身ですので、工業大学に進学する事がとても不安でした。そもそも、溶接や旋盤といった工業の知識は皆無で見たことも聞いたこともなかったからです。ですが、久留米工業大学の「加工・溶接プロジェクト」に入り活動していく中で「ものづくり」の基礎・基本をしっかりと学ぶ事ができ、今では専門級の溶接免許を取得するまでになりました。また、加工・溶接プロジェクトの顧問である野口先生をはじめ淵上先生は、これまで様々な現場でご活躍された先生方ですので職人ならではのノウハウ等、多くの事を学ばせていただきました。そんな恵まれた環境のもと、溶接プロジェクトメンバーは日々、充実した学生生活を送っています。

コマ大戦について

機械システム工学科 3年 太田篤（三養基高等学校卒）



コマ大戦とは、製造・加工のプロ達が技術者としての誇りと威信を賭け一対一で戦う全国大会です。私たちコマプロジェクトは、加工プロジェクトサークルの中でも技能検定旋盤2級、3級をもった精鋭たちの腕試しとして進められているプロジェクトです。私たちは大学の代表として、1/1000mmレベルの高精度完成を行うべく、日々練習のために夜遅くまで試行錯誤を行っています。大戦においては地区大会優勝を手始めに、全国大会で入賞することを目標としています。一緒に頑張っているみんなとチャレンジ精神で大いに暴れてきたいと思っています！

学生フォーミュラプロジェクト

交通機械工学科 2年 内藤篤（祐誠高等学校卒）



私は今、学生フォーミュラプロジェクトというものに参加しています。学生フォーミュラとは一言でいうなら学生たちのレーシングチームです。学生自身の力で企画、設計、製作、開発を行い最後には走行させるといったことをやっています。

この活動をしてよかったと思うことは、ゼロからものを作る難しさを学ぶこと、そして、自分たちで設計したものが動いたときの感動を味わえることです。確かに苦しい場面もありますが、それを乗り越えて大会で車両が走り出したところを見ると今までの苦労を忘れるくらい楽しいです。ものづくり、車の設計開発に興味ある人にはお勧めです。

「夕暮れコンサート」を開催！

建築・設備工学科 2年 伊藤和広（浮羽工業高等学校卒）



私たち吹奏楽団は昨年12月に結成したばかりで、一年生を含め16名の人数も少ない！楽器もない！団員のほとんどが初心者！という中で「みんなが楽しめる音楽をする」という目標に向かって頑張っています。今回皆様の応援もあり、初演でしかも新棟のテラスで学内外から100名余りの来場者があり、緊張のなか全員で練習してきた「魔女の宅急便」や「となりのトトロ」など全8曲を演奏しました。最後には皆様からアンコールの拍手がなりやまず「風になりたい」を演奏し終わると万感胸に迫るものがありました。

また、演奏の音にシンクロして3台のBigPadには河野研究室の池田君による「リアルタイムビジュアルエフェクト」が音の奏でる躍動を映し出し、工業大学ならではの演出で演奏を盛り上げていただきました。当日は天気もくもり空でしたが、演奏が終わるころには夕日が顔をのぞかせて「夕暮れコンサート」にふさわしいシチュエーションとなりました。

Picture 塾

情報ネットワーク工学科 1年 渡邊宏一（上智福岡高等学校卒）

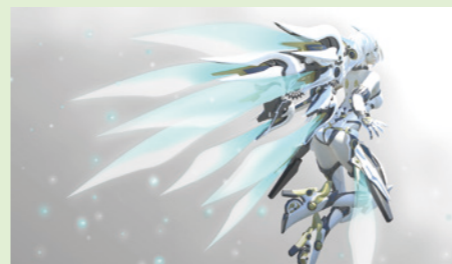


Picture 塾とは、CG技術を自主学習している情報ネットワーク工学科の1年生から4年生が集まった組織です。

私は、CG技術について興味があり、入学後、先生から紹介のあったPicture塾に参加してみることにしました。初めは、先輩が塾形式で指導を行い、3DCGの簡単な技術を学び、その技術を駆使して作品を作っています。わからないことがあれば、須藤先生をはじめ先輩方が懇切丁寧に教えてくれます。少しずつ難しい技術を学び、今まで学んできたことがいつの間にか自分の力になり、物を作る楽しさを教えていただきました。Pictureは、「これから」を築く力を学ぶ最高の場所です。

学内CGデザインコンペ

情報ネットワーク工学科 4年 井上翔太（祐誠高等学校卒）



第4回キャラクターデザイン部門最優秀賞 浦田昂平（祐誠高等学校卒）

学内CGデザインコンペは2013年から始まり、学生のCG作品の発表会の場となっています。コンペは外部の審査員の方をお呼びして普段聞けない人からの評価やアドバイスを貰えるのでいい刺激になります。また、外部の方に自分の実力をアピールでき、そこから、就職につながる場合もありやる気が出てきます。さらに、自分以外の人の作品も見れるので周りの人の意外な実力が見れて負けられないと思います。CG制作は、期間が限られているので計画的に物事を進めていく力も身に付きます。このように、コンペ出品を目標とすることは、制作のやる気の持続に役立っています。